



1) ナクル湖のフラミンゴの大群。「大地溝帯にあるケニアの湖沼群」として世界遺産登録されている。 2) マサイ族のビーズアクセサリーは色鮮やかな独特の配色が特徴。ビーズアクセサリーは白人と接触した19世紀後期からでそれ以前は貝殻や種子、動物の骨などを材料にアクセサリーを作っていた。 3) マサイ族の家は牛糞と泥で作られているがにおいなどはありません。 4) 何も無い大草原に沈む夕日は感動的 5) マサイ族の男たちの歓迎の踊り。より高くジャンプできると尊敬を集めるという。



6) マサイマラで早朝行われるバルーンサファリ。夜明け前から出発し朝日に合わせてテイクオフ。雄大なサバンナを空から見学。 7) アフリカ第2位の高峰ケニア山(5199m)は特異で多様な生態系が見られ世界遺産に登録されている。ジャイアントセネシオというキク科の植物は7mもの高さを持つなど他では見られない植生が特徴。 8) マサイ族の女性の歓迎の踊り。スリムな人が多いのは彼らの主食である牛乳や牛の血が理由だとか! 9) アンボセリ国立公園から臨むキリマンジャロ(5895m)はタンザニアにありアフリカ大陸最高峰。



草原の貴族マサイ族

[ケニア]

バンコク経由飛行時間合計約 11 時間 20 分

果てしない草原 遊牧の民マサイ族

見渡す限りの草原、ケニアのマサイマラは遮るものがない大空と大草原が広がるサバンナ。

そんな大自然の中に真っ赤な伝統衣装に身を包んだマサイの人が立つととても絵になる。マサイ族は赤を好むが、これはサバンナで遠くからでもよく見えることや肉食獣が赤を恐れるからと言われている。

草原で遊牧をしながら生活してきた彼らの視力は驚異的で、我々が行う視力検査を50M先から判別するものもあるという。猛獣から大切な家畜を守るために常に遠くを見つめているからだと言われているが、逆に近くのものが見えにくいらしい!?

マサイ族の人々は真っ白な綺麗な歯をした人が多い。彼らは村の中に歯磨きの木を植えており、毎日その枝を折ってブラシのようにして歯を磨くそう。天然の使い捨て歯ブラシで虫歯知らず、歯医者いらすだ。

さらに村にはいろいろな用途に合わせた植物が植えられており、柔らかい葉っぱはトイレット。ペーパーとして使用されるなど自然に優しい生活を送っている。

政府による定住化政策のため、マサイ村は動物保護区内に押しとどめられており、本来の遊牧生活ができない状況にある中、携帯電話が普及するなど、良くも悪くもマサイの伝統生活も徐々に変わっていくのかもしれない。